

紫川・東谷川及び板櫃川洪水ハザードマップ



あわせて、「北九州市防災ガイドブック」を確認しておきましょう。避難に活用できる気象情報・水位情報や非常持ち出し品リストなど、より詳しい内容を掲載しています。

防災ガイドブック掲載URL

<http://www.city.kitakyushu.lg.jp/kiki-kanri/13801096.html>



発行 平成31年2月

問い合わせ先 北九州市危機管理室危機管理課

〒803-8501北九州市小倉北区城内1-1

TEL : (093)582-2110

洪水避難の心得

気象情報・水位情報・避難情報を積極的に集め、浸水前の安全なうちに避難しましょう。大雨に伴い土砂災害が発生することもあります。

浸水した後は、より高い場所へ避難しましょう。

気象情報 水位情報 避難情報

これらの情報は、登録制防災メール及びLINE等により入手できます。

[登録方法はこちら](#)

避難情報は、テレビ・ラジオ、緊急速報メール（エリアメール）、インターネット、広報車などからも入手できます。

避難準備・高齢者等避難開始

避難に時間のかかる方とその支援者は避難行動開始

避難勧告

すべての住民の方は速やかに避難行動開始

避難指示（緊急）

すべての住民の方は直ちに避難行動開始

避難勧告や避難指示（緊急）を発令することが予想される状況

災害による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった状況

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった状況

災害発生後

災害発生



原則 / 早めの避難

逃げ遅れたら / その場そのときで命を守る行動を

浸水前の早い段階で安全な場所へ

水の中を避難するのはとても危険です。浸水前の避難にどの情報が活用できるかを北九州市防災ガイドブックなどで確認し、避難のきっかけをつかみましょう。

浸水した後は、より高い場所へ

浸水後は無理に避難せずに、近くの高い建物や自宅の高い場所で身を守りましょう。浸水の状況によってはとどまるのが危険な場合や浸水が長引いて孤立してしまう地域があります。

とどまるのが危険な場合って？

浸水が長引く地域って？

早い段階での避難先

避難できる安全な場所を記入しましょう。

記入欄

裏面を参考に、避難所に限らず、お住まいの地域の状況を確認し、2つの避難先を記入欄に記入しましょう。

逃げ遅れたときの避難先

近くにある高い建物や高い場所を記入しましょう。

記入欄

このハザードマップに使用した紫川・東谷川及び板櫃川の浸水想定区域図について

平成27年5月の水防法の改正に基づいて、平成30年4月に福岡県は想定最大規模の降雨により紫川・東谷川及び板櫃川が氾濫した場合に、浸水が想定される区域と浸水深等を公表しました。このハザードマップは、想定最大規模の浸水想定を基に作成しています。

登録制防災メール及びLINE

もらって安心

災害情報配信サービス（北九州市）
気象情報、避難情報等

登録メール e-kitakyushu@xpressmail.jp



防災メール・まもるくん（福岡県）

気象情報、避難情報等

登録メール mamoru@bousaimobile.pref.fukuoka.lg.jp



北九州市LINE

市政情報、避難情報等

LINEの検索欄で「北九州市」を検索



裏面を見て、自宅（事業所）がこのような区域にある場合には、自宅（事業所）以外への避難が必要です。

流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれがある区域

裏面のマップでは、



洪水の際に地面が削られるおそれがある区域

裏面のマップでは、



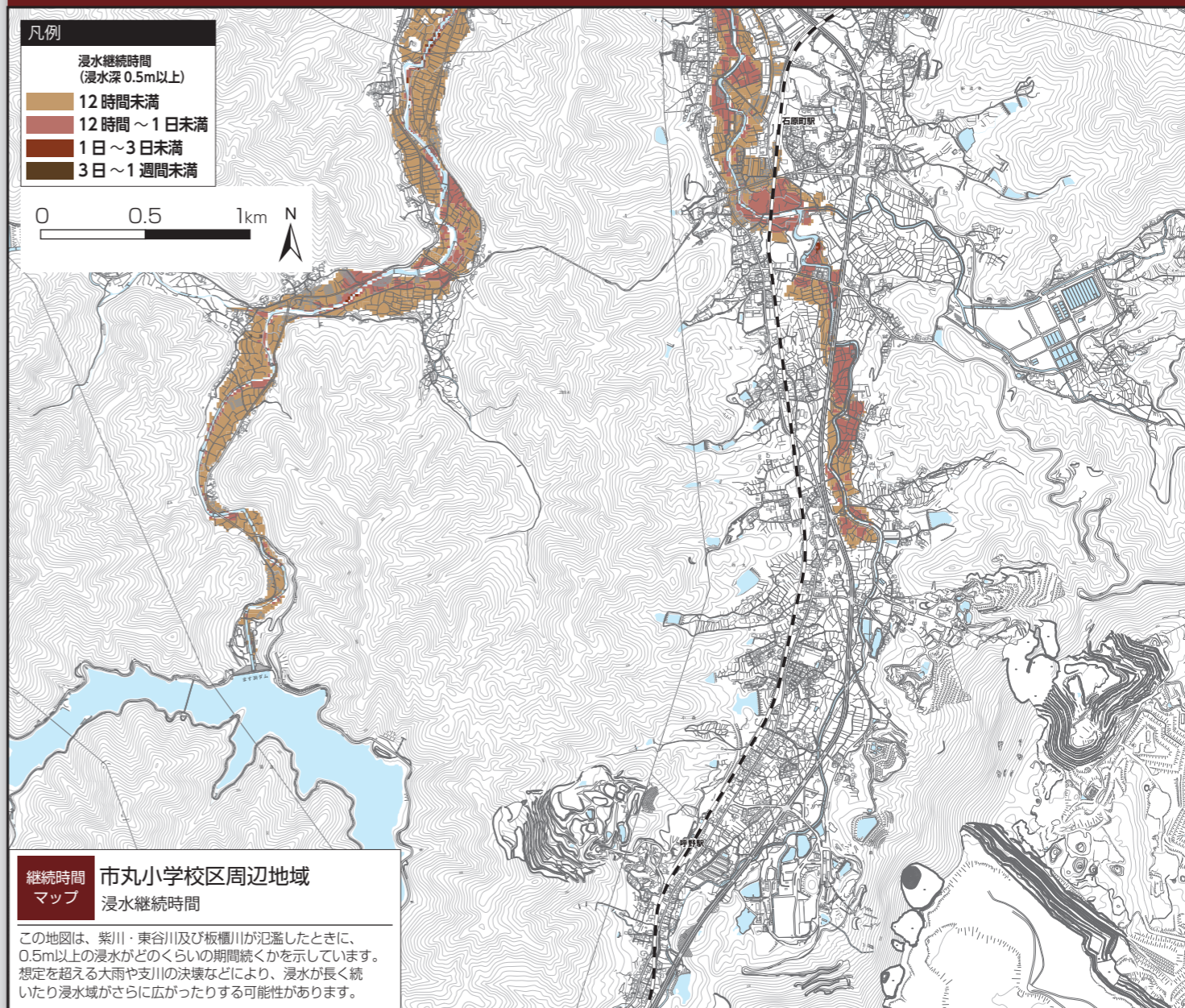
居住階が水に浸かってしまうおそれがある区域

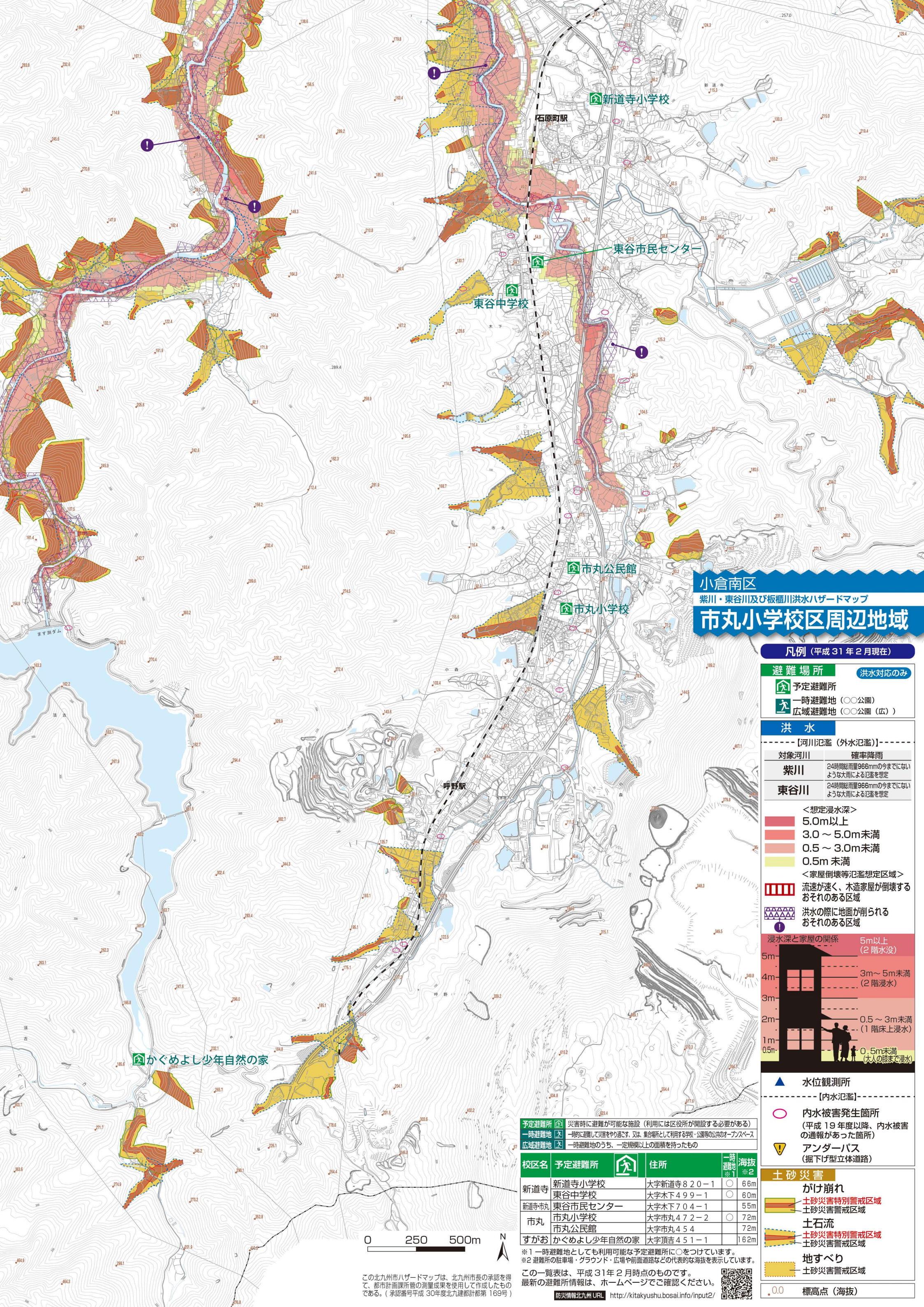
裏面のマップでは、

- 5m以上 3階床上浸水が予想される
- 3~5m未満 2階床上浸水が予想される
- 0.5~3m未満 1階床上浸水が予想される
- 0.5m未満 1階床下浸水が予想される

いずれかにあてはまる場合には、まず、早い段階で安全な場所への避難を考えましょう。また、逃げ遅れたときの避難先として、近くの高い建物などを考えておきましょう

浸水が長引くと、とどまるのが可能でも孤立するため、浸水前に浸水想定区域外に避難することが重要です。





小倉南区
 紫川・東谷川及び板櫃川洪水ハザードマップ
市丸小学校区周辺地域

凡例 (平成31年2月現在)

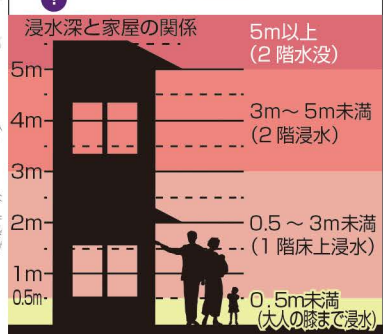
- 避難場所** 洪水対応のみ
- 予定避難所
 - 一時避難地 (〇公園)
 - 広域避難地 (〇公園 (広))

洪水

----- [河川氾濫 (外水氾濫)] -----

対象河川	確率降雨
紫川	24時間総雨量966mmの今までにないような大雨による氾濫を想定
東谷川	24時間総雨量966mmの今までにないような大雨による氾濫を想定

- <想定浸水深>
- 5.0m以上
 - 3.0～5.0m未満
 - 0.5～3.0m未満
 - 0.5m未満
- <家屋倒壊等氾濫想定区域>
- 流速が速く、木造家屋が倒壊するおそれのある区域
 - 洪水の際に地面が削られるおそれのある区域



- 水位観測所
- [内水氾濫] -----
- 内水被害発生箇所 (平成19年度以降、内水被害の通報があった箇所)
- アンダーパス (掘下げ型立体道路)

- 土砂災害**
- かけ崩れ
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 土石流
 - 土砂災害特別警戒区域
 - 土砂災害警戒区域
 - 地すべり
 - 土砂災害警戒区域

- 予定避難所 災害時に避難が可能な施設 (利用には区役所が開設する必要がある)
- 一時避難地 一時的に避難して災害をやり過ごす。又は、集合場所として利用する学校・公園等の公共のオープンスペース
- 広域避難地 一時避難地のうち、一定規模以上の面積を持ったもの

校区名	予定避難所	住所	一時避難地 ※1	海拔 ※2
新道寺	新道寺小学校	大字新道寺820-1	○	66m
	東谷中学校	大字木下499-1	○	60m
新道寺丸	東谷市民センター	大字木下704-1		55m
	市丸小学校	大字市丸472-2	○	72m
市丸	市丸公民館	大字市丸454		72m
	すがお	かぐめよし少年自然の家	大字頂吉451-1	162m

※1 一時避難地としても利用可能な予定避難所に○をつけています。
 ※2 避難所の駐車場・グラウンド・広場や前面道路などの代表的な海拔を表示しています。

この一覧表は、平成31年2月時点のものです。
 最新の避難所情報は、ホームページでご確認ください。
 防災情報北九州 URL: <http://kitakyushu.bosai.info/input2/>



この北九州市ハザードマップは、北九州市長の承認を得て、都市計画課所管の測量成果を使用して作成したものである。(承認番号平成30年度北九建都計第169号)



0.0 標高点 (海拔)